

HPVワクチン東京訴訟 支援ネットワークニュース

No.13 2018年9月28日

HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋6F

城北法律事務所内

ホームページ：<http://hpv-yakugai-shien.net/>

Facebookページ：<https://www.facebook.com/hpvtv.yakugai.tsn/>

E-MAIL：hpv_shien@yahoo.co.jp



第2回総会にご参加ください

支援ネットワークの活動を拡げるため、ひとりでも多くの方の参加をお待ちしております。

2018年10月14日(日) 13:30～16:00

日比谷図書文化館 (B1F) 日比谷コンベンションホール

記念講演

HPV ワクチンの基本的問題・日本と世界の被害

— 国際シンポジウムのまとめ から —

水口真寿美 (弁護士、薬害オンブズパースン会議事務局長)

国際シンポジウム「世界の HPV ワクチン被害は今」紹介ページ

<http://www.yakugai.gr.jp/topics/topic.php?id=954>

● プログラム

総会 議事	13:30～14:00
原告からの訴え	14:10～14:55
記念講演	15:00～16:00

終了後に懇親会を予定しています

● 会場案内

東京都千代田区日比谷公園 1-4 Tel. 03-3502-3340

東京メトロ「霞ヶ関駅」 徒歩約3分

都営地下鉄「内幸町駅」 徒歩約3分

JR「新橋駅」 徒歩約10分

● 10月から新年度 会費納入をお願いします 会員拡大にご協力ください



支援ネットへ 入会をお願いします

● 入会申込み WEB 入力フォーム

<https://goo.gl/forms/IJmdrsiNu4EkaELO2>

● 会費送金先 年会費は1口1000円以上(任意)

- 郵便振替 記号番号 00140-7-696944 HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワーク
- ゆうちょ銀行 店番 018 口座番号 8055797 (普通預金)



HPVワクチン東京訴訟 支援ネットワーク 第2回総会にご参加ください

2018年10月14日(日) 13:30～16:00
日比谷図書文化館 (B1F) 日比谷コンベンションホール

講演
HPVワクチンの基本的問題・日本と世界の被害
— 国際シンポジウムのまとめ —
水口真寿美 (弁護士、薬害オンブズパースン会議事務局長、HPVワクチン被害訴訟全国弁護士共同代表)

国と企業の責任を問う、HPVワクチン被害訴訟。被害者は、支援の広がりを願っています。ひとりでも多くの方の参加を、お待ちしております。

参加費 無料

会場案内
東京都千代田区日比谷公園1-4
Tel. 03-3502-3340
東京メトロ「霞ヶ関駅」 徒歩約3分
都営地下鉄「内幸町駅」 徒歩約3分
JR「新橋駅」 徒歩約10分

プログラム
・総会 議事 13:30～14:00
・原告からの訴え 14:10～14:55
・記念講演 15:00～16:00
終了後に懇親会を予定しています

HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク
ホームページ：<http://hpv-yakugai-shien.net/>
Facebookページ：<https://www.facebook.com/hpvtv.yakugai.tsn/>
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋6F
城北法律事務所内
E-MAIL：hpv_shien@yahoo.co.jp



江戸川大学学園祭で学習会を開きます

江戸川大学マスコミュニケーション学科 駒木祭企画。どなたでも参加できます。

被害者とともに HPVワクチン薬害を考える

日時：11月3日（土・祝） 13時～16時半

場所：江戸川大学 E211 教室（千葉県流山市）

かつて「子宮頸がん予防ワクチン」と呼ばれていた HPV ワクチンの接種後に、全身の疼痛・知覚障害・運動障害・記憶障害などの深刻な副作用被害が発生し、今なお全国の多くの被害者が苦しんでいます。

関東・甲信地方の5人の被害者の生の声を聴き交流することを通じて、同世代の若者としてこの問題を正しく理解しましょう。マスコミ学科・隈本ゼミの学生が運営します。

参加費無料、申込不要

会場案内

〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

アクセス：<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>

つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」から
スクールバス 5分、徒歩 18分

※ 休日ですが、学園祭開催のためスクールバスを利用できます。

マップ：<https://goo.gl/maps/EvNic3JeF822>



静岡市で学習会を開きました

大石節子さんからいただいた報告をお届けします。

9月9日（日）静岡市にて学習会「HPV（子宮頸がん）ワクチン被害を考える」が行われました。主催は HPV ワクチン東京訴訟支援ネットワーク、共催は私達、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会静岡県支部です。

学習会の会場であるグランシップ のレストランに 11 時集合。まずは、たたかいの前の腹ごしらえと初めてお会いする参加メンバーの自己紹介。東京訴訟ネットワークの皆さんは関東圏からわざわざ静岡にお越しいただきました。私達被害者連絡会静岡県支部のメンバーも 2 年前の静岡県庁訪問以来の顔合わせでした。和やかな雰囲気の中、ランチと簡単な打ち合わせが終わり、12 時からはピラ配りのため、静岡駅班と東静岡駅班に分かれ移動、それぞれの場所に静岡民医連の応援も加わりピラ配りが始まりました。



私は、静岡駅班に加わったのですが、準備いただいた150枚のビラがあつという間になくなる勢いで、あわてて150枚コピーを追加したものの、30分足らずですべて配り終えてしまいました。松谷静岡市議がマイクを準備してくださったので、隈本江戸川大学教授を中心に私達被害者連絡会静岡県支部の3名も大きな声でワクチンの恐ろしさ、被害の実態を市民に訴えることができました。ビラ配りで感じたことは、娘世代の関心は意外にも低く、私達母親やおばあちゃん世代が関心を持ってきていたことです。娘世代はもちろんですが、接種推奨が再開してしまった時の対象年齢の方々に他人事とは思わずもっと関心を持ってもらいたいと思いました。そのためにも正しい情報を届け、また推奨を阻止しなければと強く感じました。



ビラ配り後は、グランシップに戻って14~16時の学習会。定員99名の映像ホールが半分以上、人で埋まっています。前半は、隈本教授によるHPVワクチン実態、針ヶ谷弁護士による東京訴訟の状況をスライドで分



かりやすく説明。後半は、私達被害者による生の声、山梨県から望月さん母娘さんも参加いただき大変こころ強く感じました。お話している望月さんをふと見ると、手が震えている…被害者の多くが苦しんでいる不随意運動でした。失礼を承知で、会場にいる皆さんに不随意運動（手足の震えなど）のことを話させていただきました。また、入院のため学習会に参加できなかった被害者の方が録音で語り、3名は手紙で心情を語ってくれ、会場内では涙をすする声が多く聞かれました。その後は、被害者との交流。会場からの質問や問いかけに答えさせていただきました、あつという間の2時間半でした。

メディアは、静岡新聞が取材に来ていただき、9月11日朝刊に学習会の様子を掲載いただきました。あと、帰り際に声をかけていただいたのが、静岡県健康福祉部の後藤疾病対策課長。小児科医であり、ワクチンや現状についてもご存知で、救済に前向きな心強い言葉をいただき、私達の努力が身を結んできていると実感することができました。

静岡での学習会は、たくさんの方々のお力をいただいて無事終わることができ安心しました。と同時に、まだまだもっともっと頑張ろうと皆さまから多くの勇気や励ましをいただいたような気がします。ご協力いただきました皆さま、ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。全国に支援の輪が広がりますよう強く願います。





第19回 薬害根絶デー

8月23日は、御茶ノ水駅前宣伝の後、18:30から文京区民センターにおいて140名の参加で前夜集会をおこないました。前夜集会では、HPVワクチン薬害被害を水口真寿美弁護士（全国弁護士共同代表）から説明を受け、東京原告団の山田莉奈さんと原告15番さんが被害の内容と裁判への思い、支援の訴えをしました。

8月23日	16:45	御茶ノ水駅前 宣伝行動
	18:30	前夜集会（文京区民センター）
8月24日	11:45	厚労省前リレートーク
	13:00	碑の前行動

まず、全国薬害被害者団体連絡協議会からスモン被害についてお聞きしました。次に学生実行委員が「過去の薬害と被害救済制度」について発表しました。最後に、薬害対策弁護士連絡会からHPVワクチン薬害訴訟への支援の訴えと、実行委員会からの行動提起をおこないました。



24日は、250人が参加してリレートークを実施しました。HPVワクチン薬害では被害回復の必要性を酒井秀郎さん（酒井七海 HPV ワクチン薬害全国原告団代表の父）が訴えました。続いて、東京原告の園田絵里菜さんが不自由な身体をおして訴えをおこないました。

薬害根絶デー実行委員会は、薬害被害者と支援者が一緒になり、HPVワクチン薬害の解決に向けこれからも行動していきます。

藤竿伊知郎（薬害根絶デー実行委員会）





AIDS 文化フォーラム IN 横浜 分科会

「薬害エイズの教訓は生かされているのか」

小林孝子さん（薬害エイズを考える山の手の会）の報告をお届けします。

今年も8月3日から5日まで横浜で「AIDS 文化フォーラム IN 横浜」が開催された。薬害エイズを考える山の手の会は、毎年このフォーラムに参加し、今年は5日日曜日の午後1時から3時まで分科会を開催、分科会のテーマは「薬害エイズの教訓は生かされているのか」、薬害エイズの被害者と HPV ワクチン副反応の被害者が対話をおこなった。

焼けつくようなアスファルトの上を10分も歩いたらゆで卵になってしまいそのような猛暑の中、私たちは神奈川の HPV ワクチン副反応被害者の方々が健康被害に至った具体的な経緯をうかがい、同時に1980年代から長い年月をかけて徐々に明らかになった薬害エイズ被害の当事者の方々の経験にも耳を傾けた。医療という健康への希望の窓とそれによる健康、生活、将来設計の破壊、私たちが直面する光と闇が厳しく交錯する現在を目のあたりにする集いとなった。

病気の原因が長い間不明で、周囲の無理解と医師の対応に苦しむ経験は、薬害エイズ、HPVの双方に共通である。



HPVではワクチン接種後に、接種前は全くなかった症状、例えば耐え難い痛みを訴えたり、歩行が困難になったり、失神したりする症状が現れても、ワクチンを接種した当事者も身近な医療者も当初はその症状が何に因るものなのか見当がつかず、途方に暮れた。そんな中でワクチン接種後に同じような症状に苦しむ娘の姿を見かねて、被害者の両親や家族がネットなどで繋がり、苦しんでいるのは自分の娘だけではないことが徐々にわかってきた。同じ

ような症状に苦しむ女性が相当数いることが明らかになっても、厚生労働省の専門家検討会はそれらの症状はワクチンの成分とは関係のない「心身の反応」との見解をまとめ、HPV接種後の各種副反応は「認められぬ病」となったのだ。上記のような症状に苦しみ日常生活にも支障がある若い女性たちがいくつもの病院を受診した際にも、検討会のこのような見解が影響して、「副反応」という言葉を使っただけで医療者の態度がガラリと変わる経験を何人もの参加者が話された。

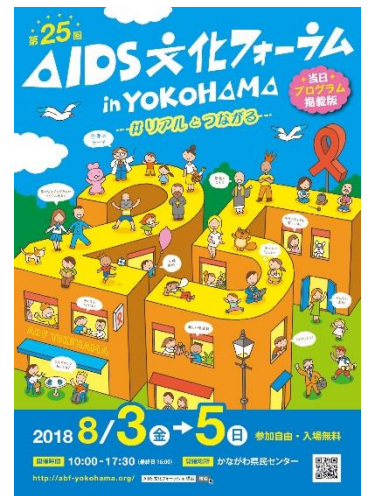
このような体験を伺って、私は薬害エイズもその被害の全容が白日の下に曝されるまでは長い時間がかかり、被害者の方々はその間いたたまれない思いをされてきたことを思い起こした。30年たっても、同じようなことが繰り返され、「薬害」に対する関心のなさや被害者の方々の苦しみに対する連帯が弱い私たちの社会の現状を嘆みしめた集いとなった。

学習会を開きましょう

みなさんの地元で、被害者の声を聞き HPV ワクチン薬害の実際を知る会を開いていただけませんか。

やってみたいと思ったら、メールで相談ください。一緒に準備させていただきます。

E-MAIL : hpv_shien@yahoo.co.jp





裁判傍聴に来てください

東京訴訟 第8回 口頭弁論期日

日時：2018年11月7日（水） 15時

場所：東京地方裁判所 103号法廷

傍聴することで原告さんを励ましましょう。

今回も、リレートーク、街頭宣伝を予定しています。

詳細はニュースでお知らせします。

裁判の情報は <https://www.hpv-yakugai.net/tokyo/>

これからの口頭弁論予定

2018年

11/07（水）東京訴訟 第8回

12/05（水）大阪訴訟 第9回

12/06（木）名古屋訴訟 第9回

12/12（水）九州訴訟 第10回

2019年

2/13（水）東京訴訟 第9回

3/05（火）大阪訴訟 第10回

3/08（金）名古屋訴訟 第10回

「真実は何より強い」

第7回期日（8月8日）傍聴記

原告側弁護士の意見陳述は、「日本でだけ起こっている現象」という論調を世界の現状をもとに潰していき痛快でした。それに続く原告は、娘のためにワクチンを受けさせた母が「ごめんね」と謝り、謝るべき人が謝らないでおかしな話だとの素直な気持ちから、製薬会社が作り、国が勧めたワクチンなのだから責任をとるのは国と製薬会社だという陳述で、あの場の空気を掴んだと思います。続く胸に迫る問いかけを被告はどう受け止めたのか。ペラペラと紙をめくってないで真っ直ぐ前を向き原告の訴えをきけ！と怒りが込み上げます。

また被告は、原因がわからない故に苦しみながらも、被害者の診療に誠実に向き合っている医師たちの論文にまで難癖をつける。これらは何より事実なのに。

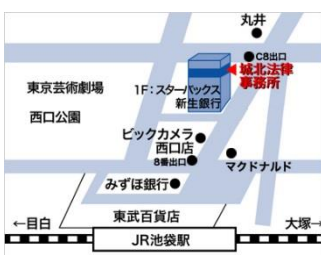
本当のことを言っている人の言葉はわかりやすく胸に響く。そして真実は何より強いと信じています。たくさんの勇気とますますの憤りを感じた期日傍聴でした。一人でも真実を知ってもらうよう周りに働きかけていきたいと思います。（松川朋子 薬剤師）

● 支援ネット例会のご案内

日時 10月22日(月) 18:30~20:30

場所 城北法律事務所（池袋駅西口すぐ）

どなたでも参加できます。



支援ネットへ 入会をお願いします

- 入会申込み WEB 入力フォーム

<https://goo.gl/forms/IJmdrsiNu4EkaELO2>

